

佐賀県

みんなで読もう オススメ本



このコーナーでは、
県内の著名人がおすすめする児童書の魅力を、
直筆の推薦文とともに紹介します。



きいろいばけつ

きいろいばけつを見つけたきつねの男の子のお話です。自分にとっての「かけがえのないもの」についてかんがえてみましょう。

『きいろいばけつ』
作/もりやまみやこ
絵/つちだよしはる
あかね書房



きつねの子が丸木橋のたもとで、だれが落としたのかわからない真新しいばけつをみつけました。前からずっとほしいと思っていたきいろいばけつ。「だれのだろう」と、うさぎの子とくまの子に相談すると「だれもとりにこなければ、きつねくんのものにしたら」といわれます。そこで、ばけつをそのまま1週間置きっぱなしにしてみることに…。幼い子どもが抱く希望や不安、また喜びを、やさしいタッチで描いた、心あたたまる幼年童話です。

ほげちゃん

あばれるぬいぐるみことほげちゃん。最高におもしろくてかわいいです。読んでいたら、大好きになります。



『ほげちゃん』
作者/やぎたみこ 偕成社

ほげちゃんは、小さなゆうちゃんのぬいぐるみ。なめられたり、ケチャップがついたり汚れ放題です。ある日、「洗ってなくて汚いから」と、お出かけにおいてけぼりにされ……「ゆるせない——！」ほげちゃんの我慢の限界がきてしまいました！大暴れするほげちゃんの姿に、読み聞かせ会も大盛り上がりの一冊です。

願いを叶える雑貨店 黄昏堂

「空虚き発見レーダー」、「ミニチュア家族キット」など、ふしぎな商品ばかりあっけうふしぎなお店の物語、読んでみたいですか？



『願いを叶える雑貨店 黄昏堂』
著/桐谷直 PHP研究所

地図には載らない。探そうとしても見つからない。幸運で不運な者、不運で幸運な者だけが、黄昏時にたどり着く。店の名は【黄昏堂】。欲しいものに貼り付けると自分のものになる「お名前シール」。幽霊だけが見えるようになる「霊視メガネ」。相手の心の声が聞こえる「聴心器」。不思議なアイテムを「記憶」を対価に売り渡す【黄昏堂】に今日も客人が訪れる。朝読書の時間にぴったりの、1話5分で読めるショートショートを15話収録。

寺地はるなさんってどんな人？

1977年佐賀県生まれ。2014年に「第4回ポプラ社小説新人賞」を受賞し、15年に小説家としてデビューしました。21年2月には「咲くやこの花賞(文芸その他部門[小説])」を受賞。また6月には『水を縫う』で「第9回河合隼雄物語賞」を受賞し、その年の夏の青少年読書感想文全国コンクール課題図書(高等学校の部)にも選ばれました。ほかにも『タイムマシンに乗れないぼくたち』『カレーの時間』など、たくさん著書があります。



佐賀県立図書館「ころざしの森」では、このコーナーで紹介した児童書と推薦文を展示しています！

